

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立福小

学校

児童数

16

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.57	18.93	40.86	41.71	41.57	9.66	149.00	23.07	53.86
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	18.50	15.00	34.00	37.00	37.00	9.95	148.00	17.00	53.00
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

男子の合計点は53.86点で全国平均を1.33点上回っている。特に、長座体前屈とソフトボール投げで全国平均を大きく上回った。一方、20mシャトルランでは、全国平均を大きく下回る結果となり課題が見られた。

女子の合計点は53点で全国平均を0.92点下回ったが、大阪平均を0.53点上回った。ただし、女子2名と被験者が少なく、1人の記録で平均値が大きく左右されることを考慮すると、全市・全国の平均値と比べて考察することは難しい。

児童質問紙では、「運動やスポーツをすることは好きですか」「体育の授業は好きですか」に対する肯定的回答の割合は共に100%、週の運動時間が60分以上の児童の割合は93.75%と高い結果であった。休み時間にドッジボール等のボール運動に親しむ様子や学校外でも運動に親しむ児童が多いことが、運動量や運動能力に大きく関わっていると思われる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

体育科指導における工夫や、休み時間を利用した「なわ跳び運動週間」や「かけあし運動週間」などの取組により、運動に対する意欲の向上を図ってきたことが、児童質問紙の回答に成果として見られる。

また、休み時間の遊び等の日常的な運動習慣の定着が、長い運動時間や高い体力合計点に成果として見られる。

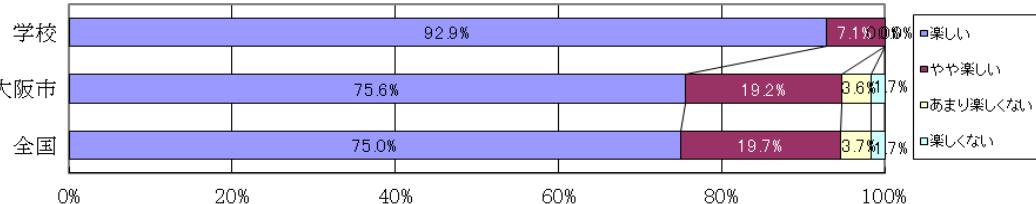
一方、種目間の差が大きいことは課題である。そのため、体育科指導の実技研修会を充実させ、来年度も各種強調週間を継続実施していくとともに、休み時間の遊び等を通した運動の機会の確保を促し、その中で多様な運動に親しむことができるようにして全体的な体力向上に努めていきたいと考える。

運動やスポーツについて

本校の特徴的な結果

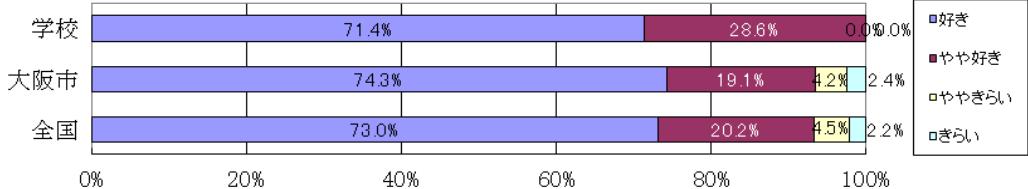
検証項目1

体育の授業は楽しいですか。



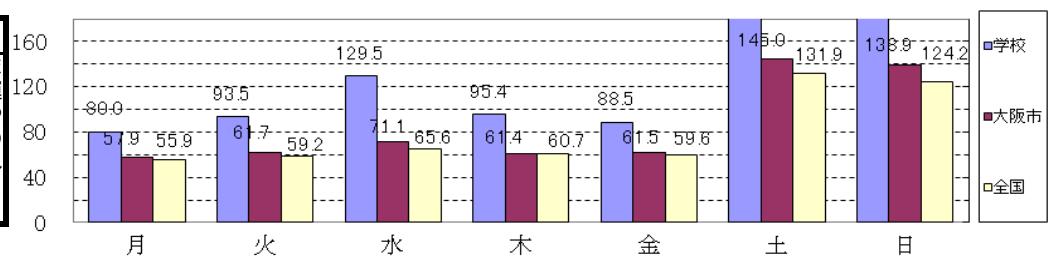
検証項目2

運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツをすることは好きですか。



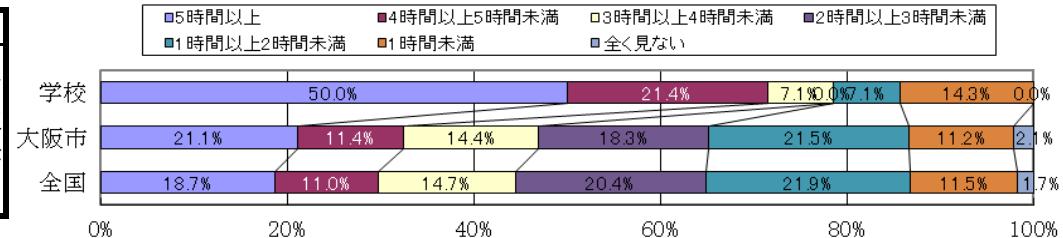
検証項目3

ふだんの1週間について聞きます。学校の体育の授業以外で、運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを合計で1日およそどのくらいの時間していますか。それぞれの曜日のらんに記入してください。



検証項目4

平日(月～金曜日)について聞きます。学習以外で、1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。



成果と課題

検証項目1及び2、3の結果から、本校児童（5年）は、運動やスポーツに楽しさを感じ、日常的に取り組むとともに、体育科の授業にも意欲的に取り組んでいることがわかる。体育科指導における工夫や体力づくり強調週間、児童会活動等の取組の成果が表れている。

一方で、検証項目4にあるように、テレビやゲーム、スマートフォン、パソコン等に費やす時間が、全市・全国平均と比べて非常に長いことが課題である。

今後の取組

体育科指導の実技研修会を充実させ、来年度も各種体力づくり強調週間を継続実施していくとともに、休み時間の遊び等運動の機会を確保し、その中で多様な運動に親しむことができるようにしてさらに体力向上に努めていく。

また、運動と学習のバランスの良い生活習慣が身につくように校内で指導するとともに、家庭への啓発も必要である。